



東証スタンダード市場
証券コード 9265



日経 I R・個人投資家フェア 会社説明会資料

2023年9月1日～9月2日

ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社



【会社概要】



会社名	ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社
本社所在地	福岡市博多区下川端町2番1号 博多座・西銀ビル10階
資本金	4億9,402万5,000円
事業内容	医療機器および関連商材の販売を主とするグループ事業 会社7社の経営管理、およびそれに付帯する業務
代表者	代表取締役 執行役員 社長 山下尚登
上場市場	東京証券取引所 スタANDARD市場
証券コード	9265
決算期	5月

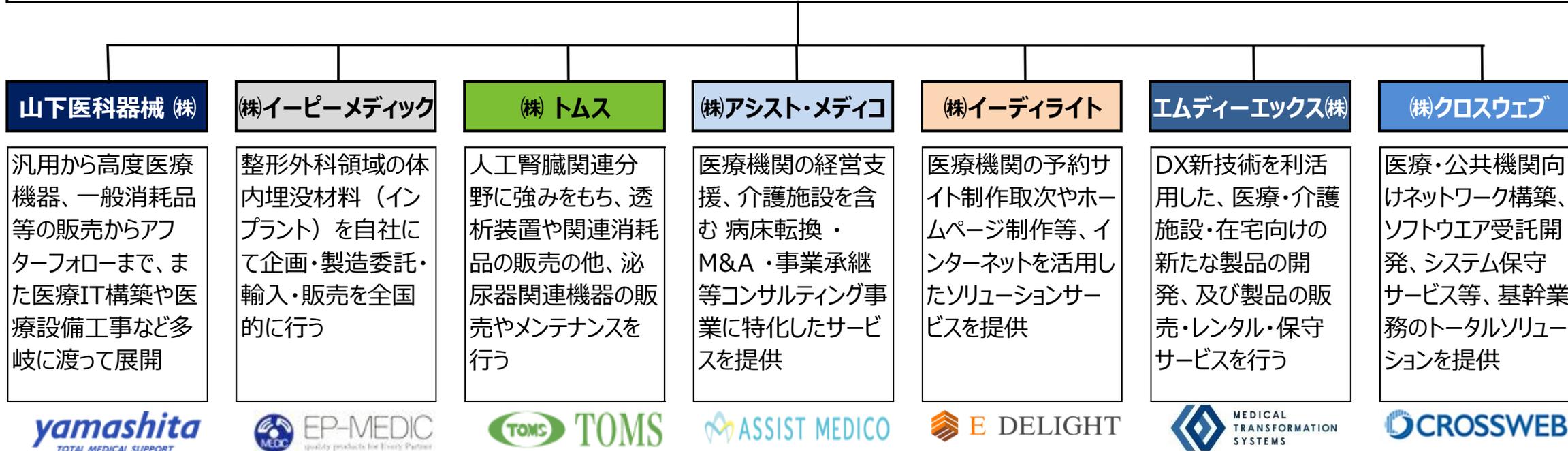


【経営理念】

『地域のヘルスケアに貢献する』

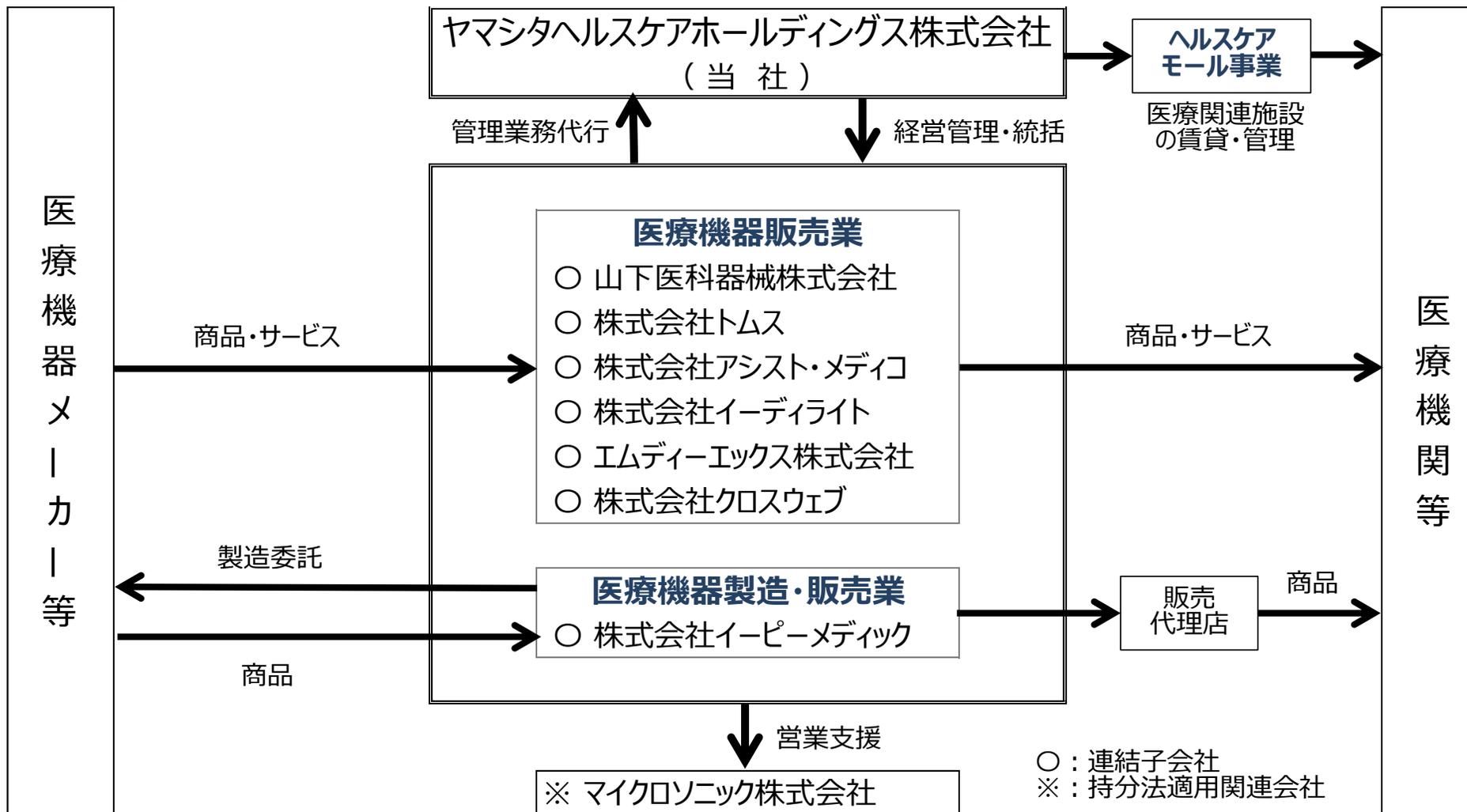
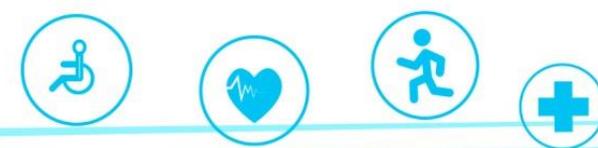
私達は、医療・福祉・介護・在宅医療などの地域包括ケアを含むヘルスケア領域にて、ステークホルダー様のQOL（クオリティ オブ ライフ）向上のため、様々な課題の解決に取り組んでいます。

ヤマシタ ヘルスケア ホールディングス YAMASHITA HEALTH CARE HOLDINGS, INC.



当社グループの主業態は、国内外のメーカーから医療機器や商材を仕入れ医療機関に販売する『医療機器の専門商社』です。グループ各社のシナジーを活かし、医療機器の販売にとどまらず、ヘルスケア領域の課題解決に取り組んでいます。

【グループ系統図】





【グループ事業拠点】



山下医科器械

佐賀支社・武雄営業所・唐津営業所・TMSセンター・鳥栖物流センター・鳥栖SPDセンター

山下医科器械

佐世保本社・佐世保支社・長崎支社・長崎中央営業所・島原営業所・五島営業所・対馬営業所・長崎物流センター

山下医科器械

熊本支社・八代営業所・天草連絡所
トムス 熊本営業所

山下医科器械

鹿児島支社・奄美連絡所
トムス 鹿児島営業所



ヤマシタヘルスケアHD 本社

山下医科器械

福岡本社・福岡支社・北九州支社・筑後支社・福岡西営業所・筑豊営業所・大牟田営業所・メディプラザ・福岡SPDセンター・医療環境センター

イーピーメディック 本社

トムス 本社・福岡営業所・北九州営業所

アシスト・メディコ 本社

イーディライト 本社

エムディーエックス 本社

クロスウェブ 本社

山下医科器械

大分支社・中津連絡所

広島県

ヤマシタヘルスケアHD 東手城ヘルスケアモール

トムス 中国営業所

東京都 エムディーエックス 東京オフィス



『医療機器・用品販売業 業界説明』

当社グループが最も得意とする事業の業界案内



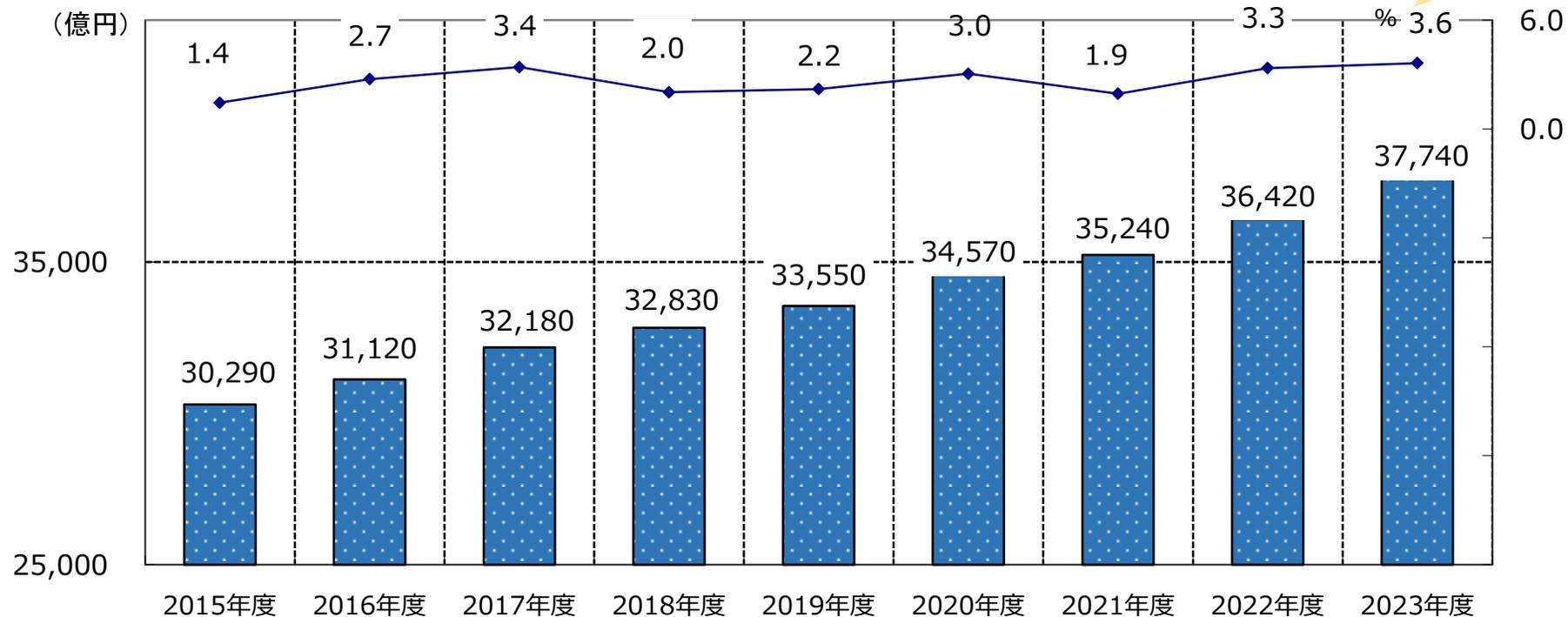
【医療機器・用品の国内市場規模】



医療費抑制政策はあるもの安定的に市場成長

- ・新型コロナウイルスの影響があったものの市場は安定的に拡大
- ・新規製品やDXを活用した機器の導入により市場規模は拡大

2023年度は
3兆7,740億円の予測



※出展: (株)R&D「医療機器・用品年鑑」

■ 末端マーケットサイズ

◆ 伸び率

(推測)

(予測)



【医療機器販売商社の業界特性】



各地域に小規模な医療機器販売商社が多数存在

- ・都道府県単位で分布（背景に戦後の医療保険制度）
- ・地域密着が必要（緊急手術対応・機器使用の支援等）
- ・特定診療科の専門販売商社

単独での新たな地域への進出の難しさ

- ・医療機関は**地場の販売商社**へ高い信頼感を置いている
- ・新地域での知名度の低さ（同一商品を扱うため差別化困難）

業界再編の流れ

- ・全国で1,000社以上存在
- ・グループ企業が**M&A**等で規模拡大、業界再編が進む



『当社グループの事業領域』

当社グループの事業ポートフォリオについて



医療機器販売業

◆ 当社グループ売上の99%を構成する中核となる販売事業
セグメントは以下の通り

- ・一般機器分野
- ・一般消耗品分野
- ・低侵襲治療分野
- ・専門分野
- ・情報サービス分野

医療機器製造・販売業

◆ 主としてグループ開発製品である整形外科用インプラントを製造・販売

ヘルスケアモール事業

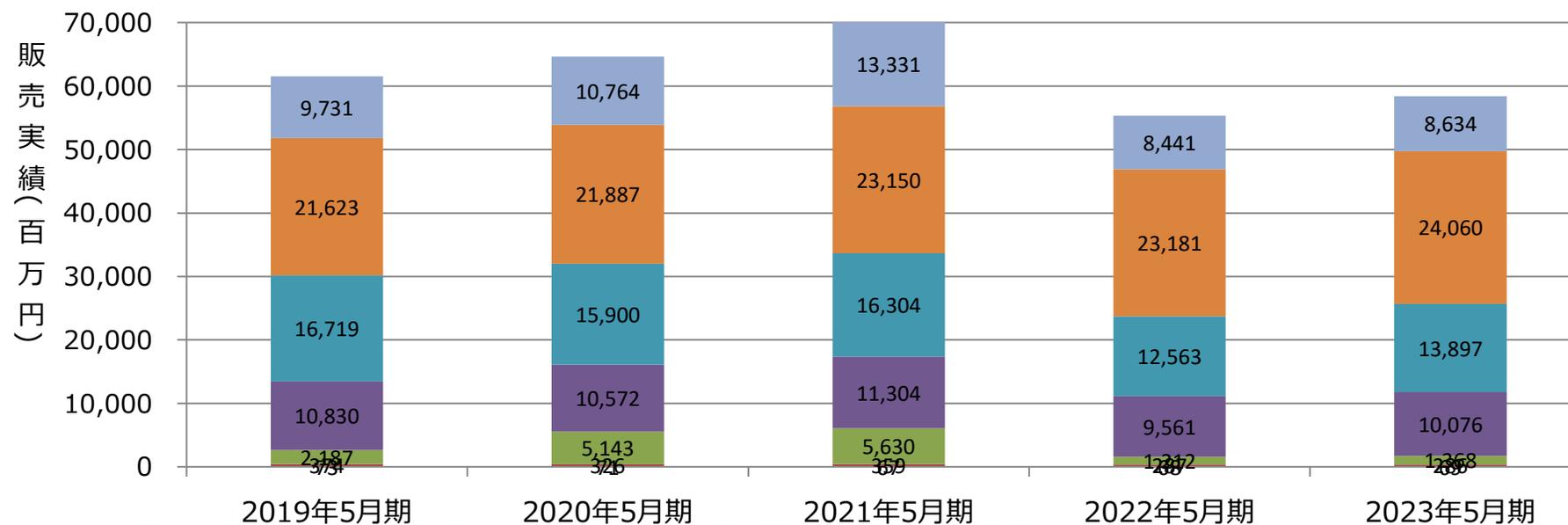
◆ 各診療科目のクリニックやフィットネス施設、健康食レストランなどを
コーディネートしたヘルスケアモールを運営



【事業ポートフォリオ別販売実績】



- 一般機器分野：治療用機器、CT、MRI、モニタリング 等
- 一般消耗品分野：手術用医療材料、輸液・輸血関連、医療用消耗品 等
- 低侵襲治療分野：内視鏡本体、IVE、消化器用・血管内治療用カテーテル・ステント 等
- 専門分野：人工関節類、検査機器、眼科備品、皮膚・形成備品、透析関連品 等
- 情報・サービス分野：医療ガス、設備工事、医療廃棄物収集、医療用ICT機器、メンテナンス 等
- 医療機器製造・販売業：整形外科用インプラント製造販売（グループ開発製品）
- 医療モール事業：運営医療モール賃料収入

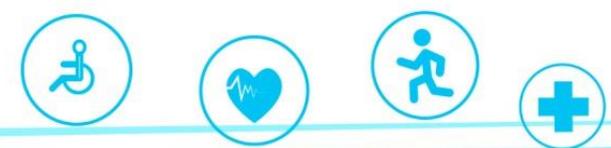




一般医療機器分野

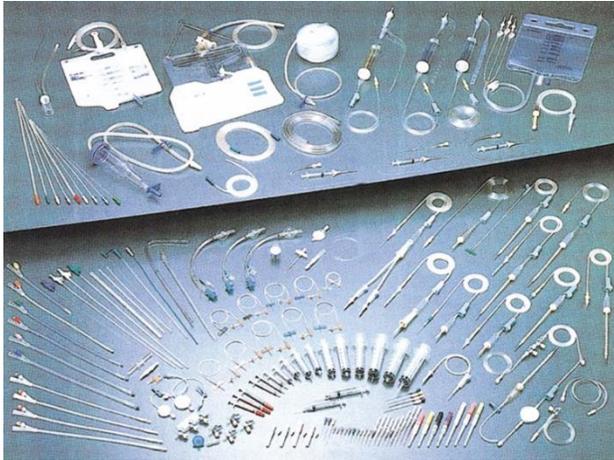
- ◆ 汎用医療機器から高度医療機器まで、幅広い製品を取扱う、当社グループの中核事業分野。急性期医療を中心に、手術室関連機器、外来診察機器、病棟関連機器およびリハビリ関連機器を販売。

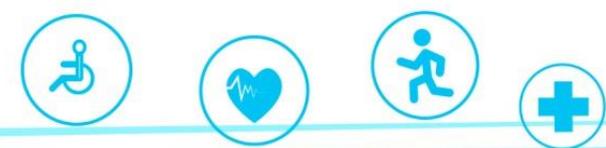




一般消耗品分野

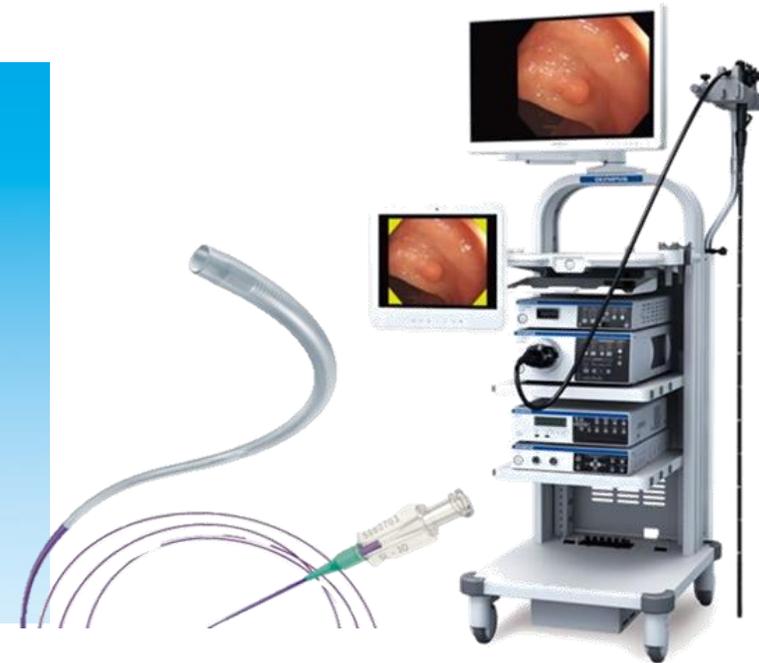
- ◆ 医療機関が使用する様々な医療用消耗品、感染対策品や臨床検査試薬等を販売。また院内物品管理システムの提供を通じて医療機関の物品管理業務をサポート。その他、医療機関経営の効率化に役立つ各種提案活動を行う。





低侵襲治療分野

- ◆ 応用範囲が急速に拡大する内視鏡関連商品のほか、X線透視下での画像診断治療や循環器治療に使用する様々な商品を取り扱う。





専門分野

- ◆ 整形外科関連製品、病理検査機器等の理化学機器、眼科機器、皮膚・形成関連機器の他、透析関連機器の販売を行っています。





情報サービス分野

- ◆ 医療事務用コンピュータ、電子カルテ、I Tシステム等の販売、医療ガス配管工事請負、医療機器のメンテナンスサービス、医療廃棄物収集運搬請負および開業支援等を手掛ける。





医療機器製造・販売業

グループ開発製品
整形インプラント
「アレクサ」



人間の身体に埋め込む埋没型の人工物（インプラント）の企画・製造・販売を行う。

医療モール事業



広島県福山市にクリニック、フィットネス健康食レストラン等を展開し、心身がリフレッシュできる空間を展開。



『当社グループ業績概況』

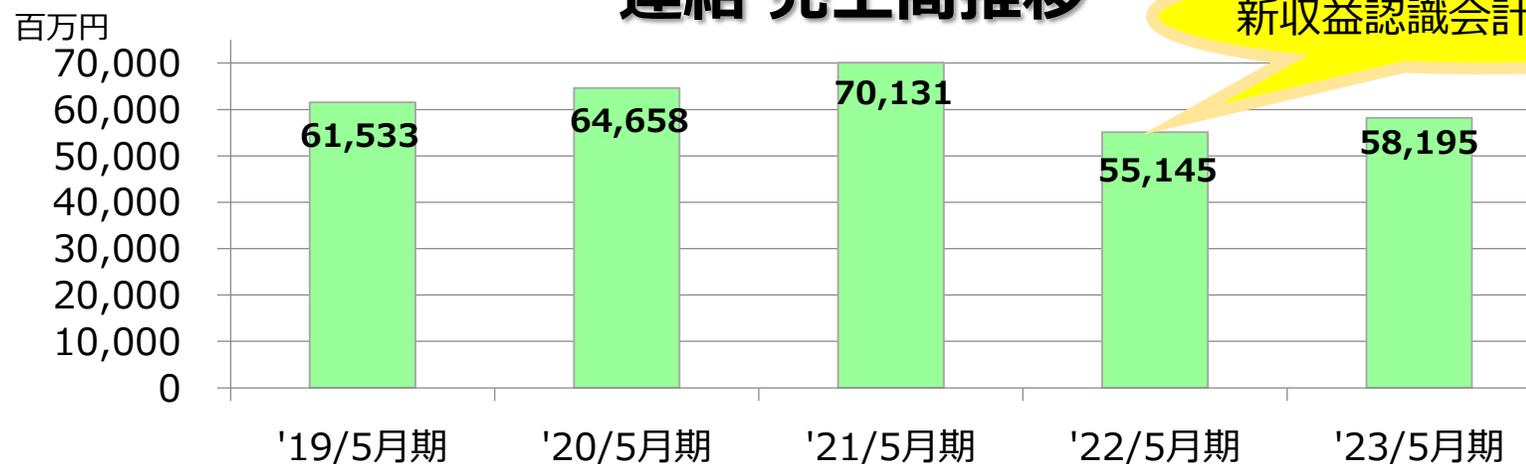
当社グループの連結業績推移等



【連結売上高・連結営業利益】

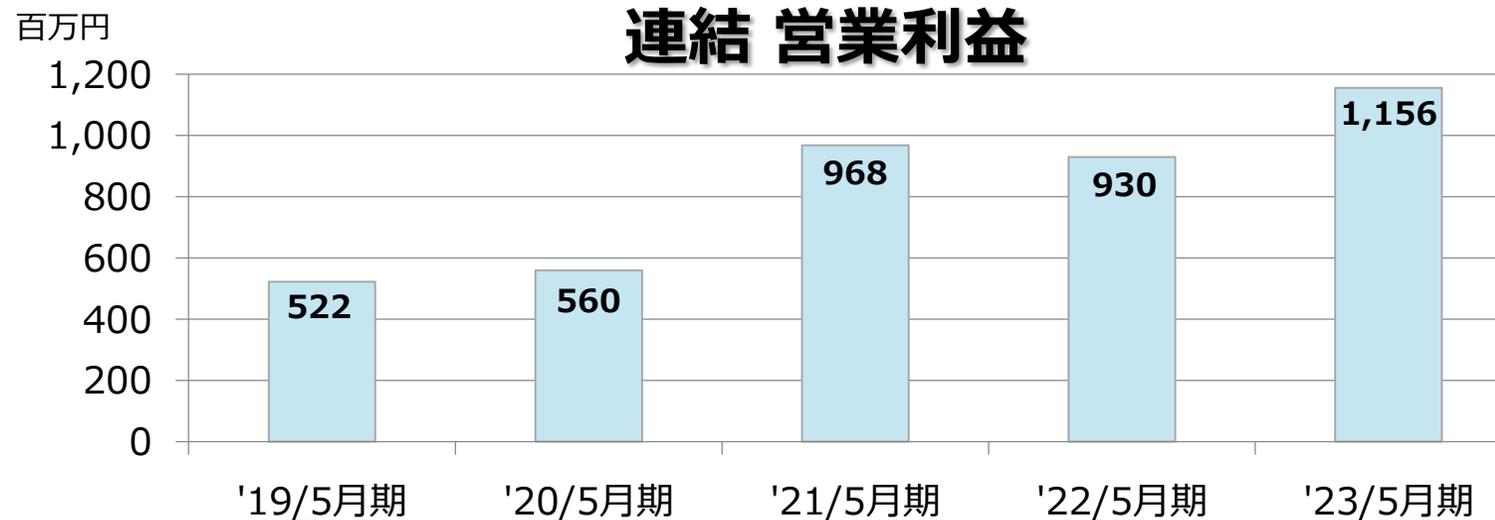


連結 売上高推移



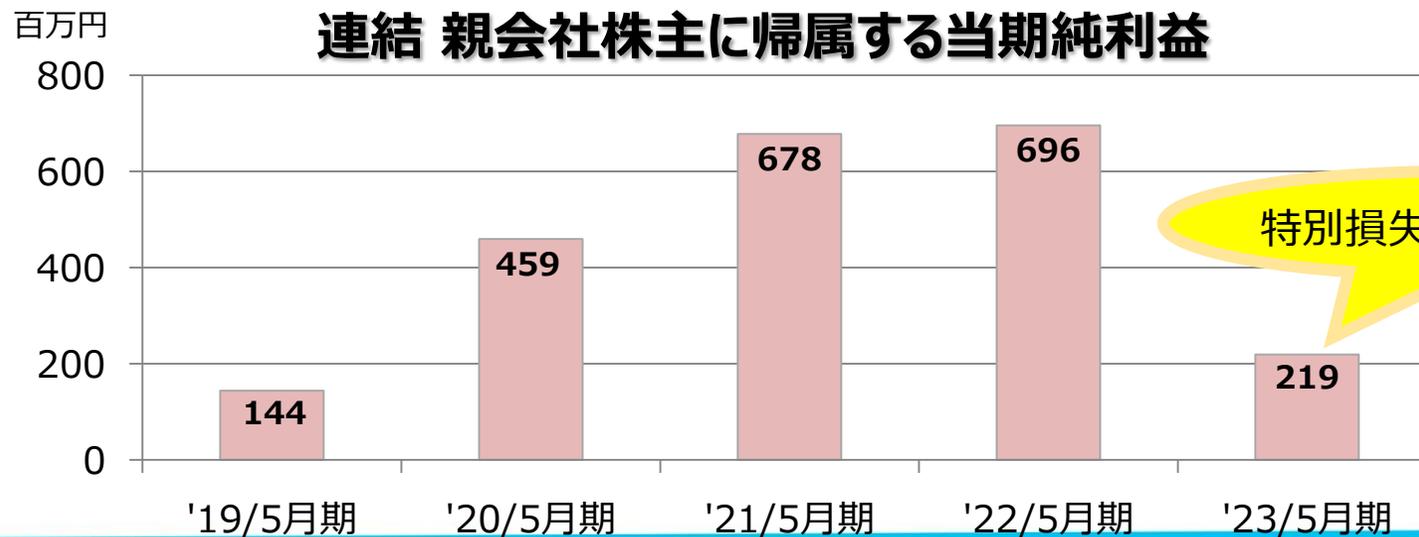
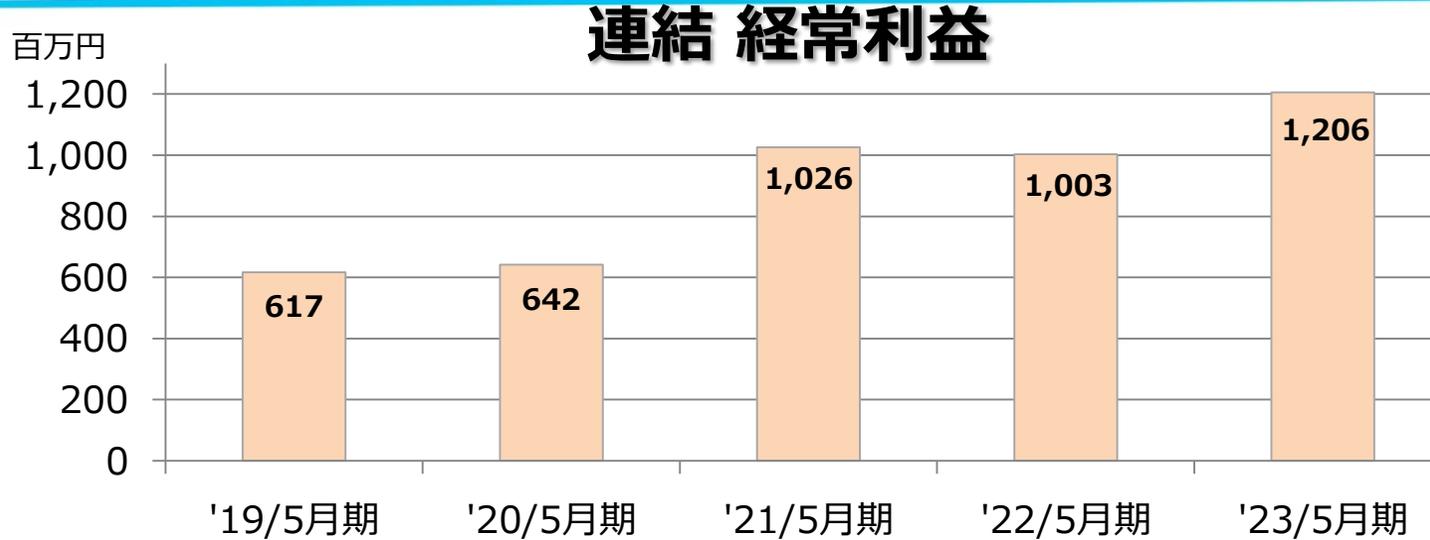
新収益認識会計基準を導入

連結 営業利益





【連結経常利益・連結当期純利益推移】





【方針①】株主資本利益率（ROE）10% を目標

- ✓ 健全な財務体質を維持しつつ、収益構造を見直し、株主資本の効率的運用により企業価値を向上させる

【方針②】自己資本比率 30%以上の維持

- ✓ 環境が更に厳しくなることが予想される中、財務基盤の安定性を重視

【方針③】配当性向 30%

- ✓ 株主・社員・会社の三者のバランスを重視した利益還元を維持

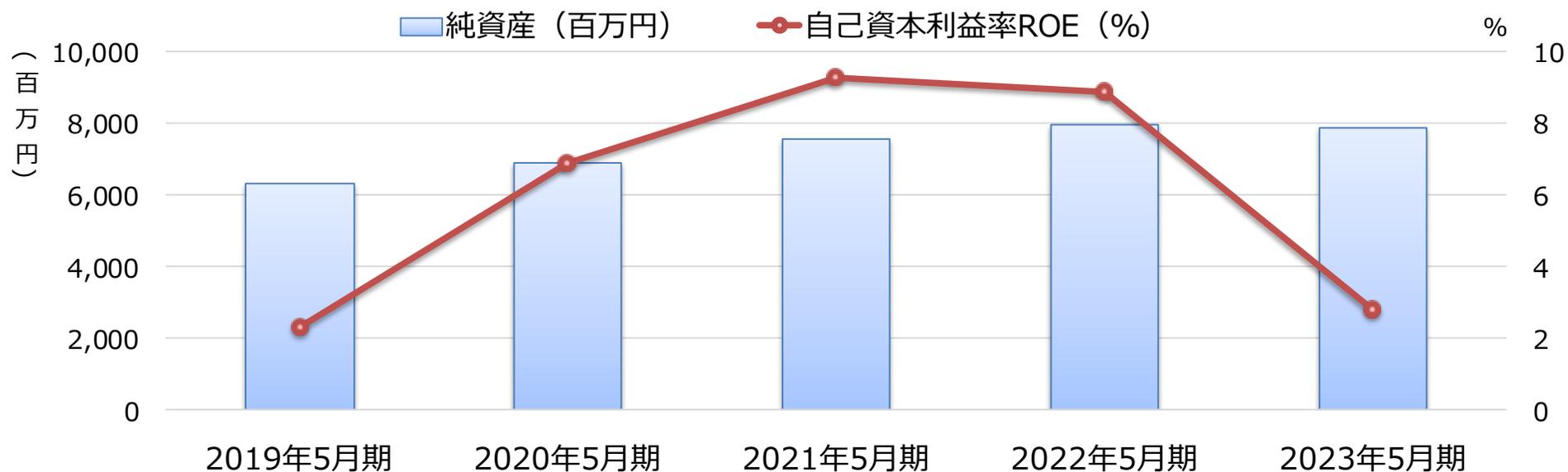


【方針① 株主資本利益率（ROE）10%】



堅実な事業拡大を基本とし、収益性の維持・向上を図る

	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期
純資産（百万円）	6,372	6,938	7,579	8,005	7,924
自己資本利益率ROE（%）	2.3	6.9	9.3	8.9	2.8



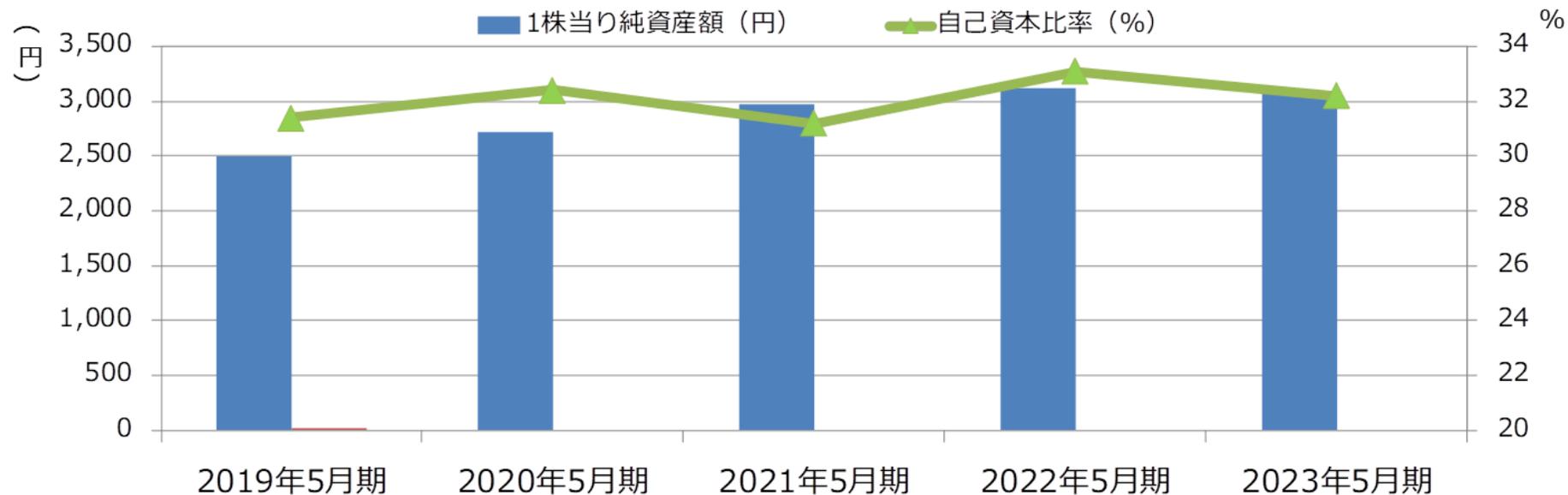


【方針② 自己資本比率30%以上】



健全な資本構成を維持しながら株主価値の向上に努める

	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期
1株当り純資産額 (円)	2,496	2,717	2,969	3,126	3,097
自己資本比率 (%)	31.4	32.4	31.2	33.1	32.2





【方針③ 配当性向基準30%】

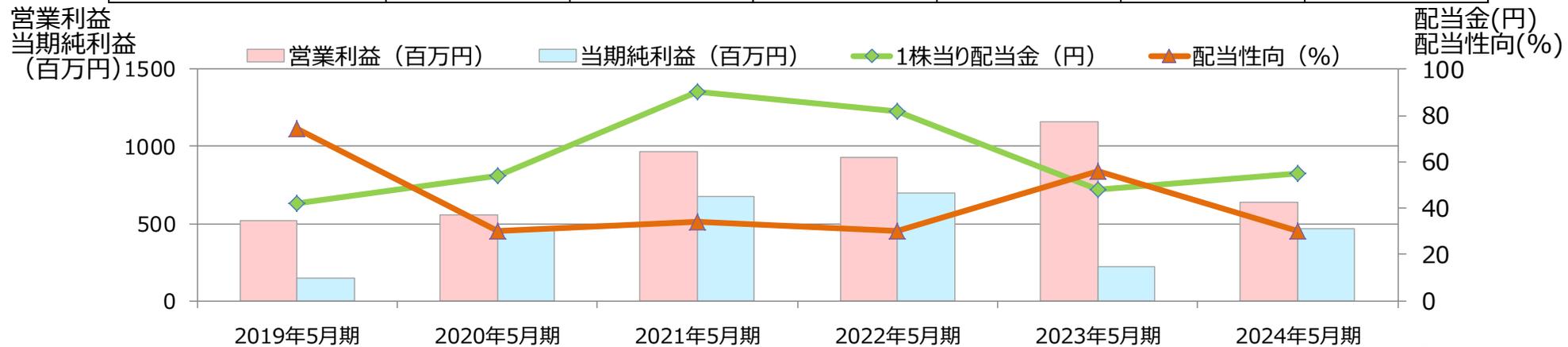


配当の基本方針

将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定かつ継続的な配当を実施することを基本方針とし、連結配当性向30%を基準としています

(予想)

	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期
1株当り配当金 (円)	42	54	90	82	48	55
営業利益 (百万円)	522	560	968	930	1,156	641
当期純利益 (百万円)	144	459	678	696	219	464
配当性向 (%)	74.2	30.0	33.9	30.1	55.9	30.3





【中期経営計画①】



2024年5月期に向けた中期経営計画では、次のような「基本方針」
「主要施策」「業績目標」を掲げております。

【基本方針】

『持続成長可能な体制構築を目指し、継続的な収益拡大に向け、ヘルスケア領域でのグループ力の向上を図る』

【主要施策】

- (1) グループの一体化と戦略機能の強化
- (2) 重点事業領域の拡充
- (3) グループ経営管理機能の強化
- (4) ダイバーシティ環境の実現
- (5) ESG 経営への取り組み
- (6) 戦略的人材マネジメントの確立

【業績目標】 本計画最終年度となる「2024年5月期の業績目標」

(単位：百万円)

	2023年5月期 実績	2024年5月期 業績目標	中期経営計画		
			2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期
売上高	58,195	54,215	49,800	50,900	52,000
営業利益	1,156	641	540	570	620
経常利益	1,206	682	580	630	680

中期経営計画の基本方針「持続成長可能な体制構築を目指し、継続的な収益拡大に向け、ヘルスケア領域でのグループ力の向上を図る」を踏まえ、2024年5月期の業績目標を設定。



【長期ビジョン①】



当社グループは、不確実で先が読みにくい時代が続くものと認識し、サステナブルな成長を実現するため、8年後の当社グループのありたい姿を見据えた、長期ビジョンを策定いたしました。

私たちがありたい姿を掲げ、当社グループとして価値観を共有し、また組織力の向上を図ることを目的としています。



「マルチプライビジョン2030」

私たちは、持続的なヘルスケアサービスを提供し、予測困難な時代に対応するレジリエントカンパニーとして、サステナブルな社会に求められる新たな価値を創出し続け、中核事業と新規事業の掛け合わせ（マルチプライ）による加速度的な成長を目指します。

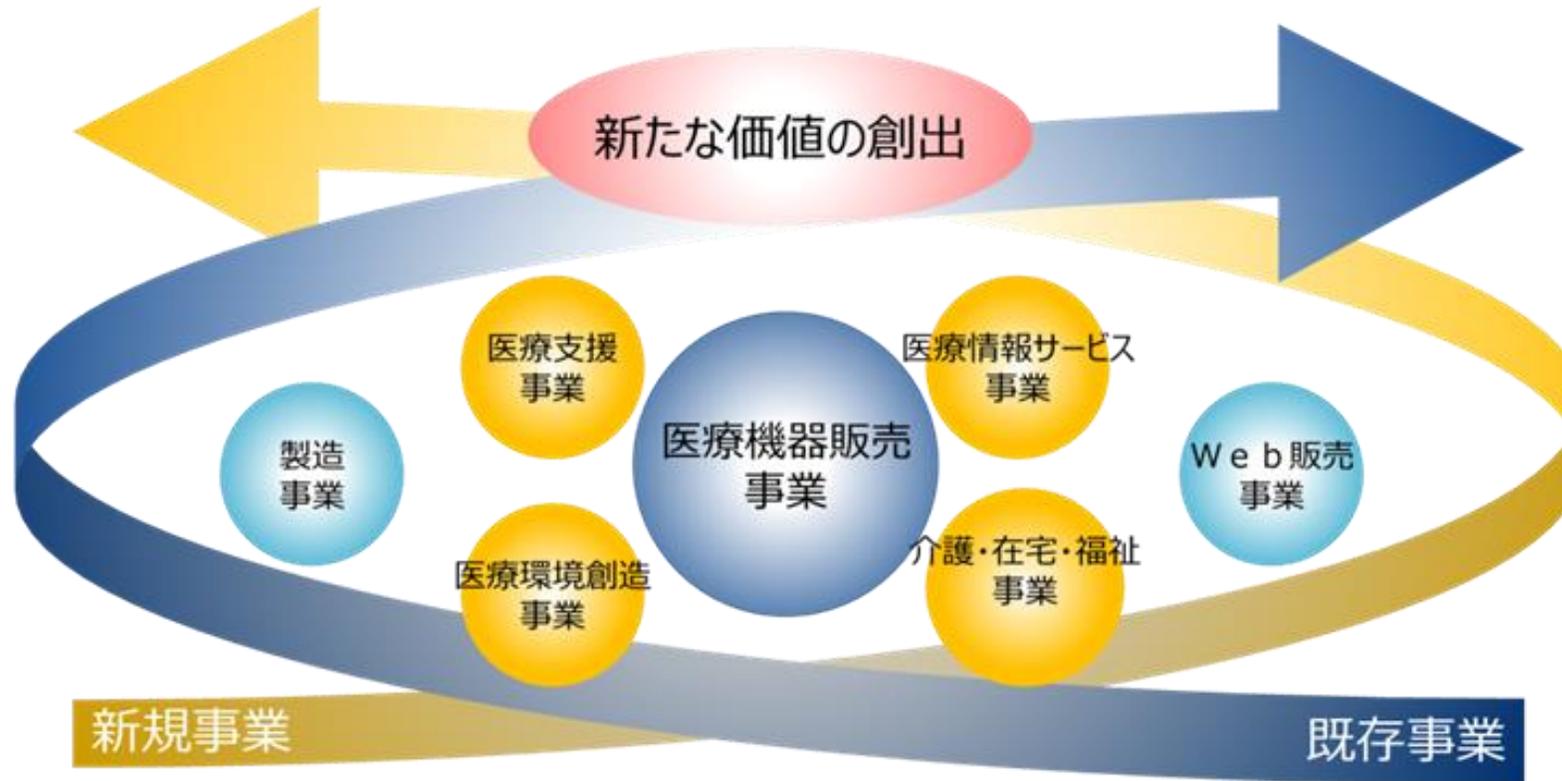


【長期ビジョン②】



当社グループが目指す事業領域

長期ビジョン『マルチプライビジョン2030』では、中核事業との親和性が高い事業の拡充を図り、企業価値の持続的な成長を目指します。



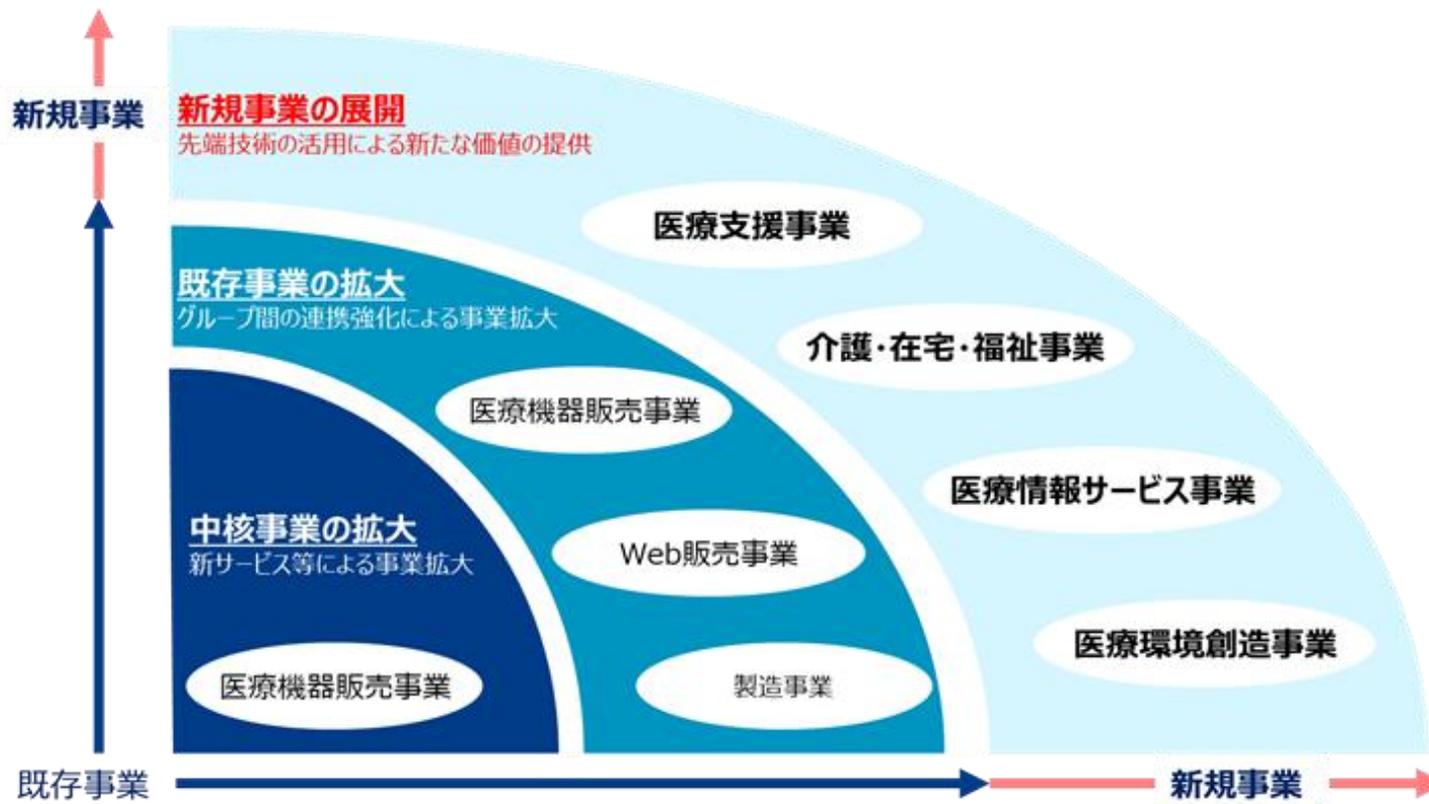


【長期ビジョン③】



当社グループの成長戦略の骨子

中核事業との連携を図りながら、新たな事業ポートフォリオの構築を通して、積極的な価値創出を目指します。





2024年5月期の連結業績予想

売上高

542億1,500万円

営業利益

6億4,100万円

経常利益

6億8,200万円

当期純利益

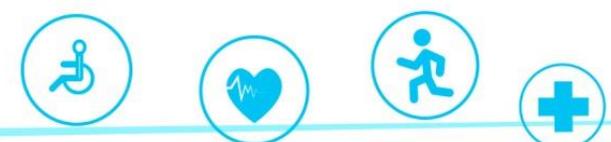
4億6,400万円

1株当たり期末配当

55円



今期業績見通し②



重点事業領域の拡充



ヤマシタヘルスケア 手術器具台湾で量産

医療機器製造子会社、ヤマシタヘルスケアホールディングス（以下「ヤマシタ」）は、人工関節（人工股関節）手術用の器具を台湾で生産する。生産コストを最大8割削減し、高品質で低価格の人工関節手術が普及する。需要を確保する。

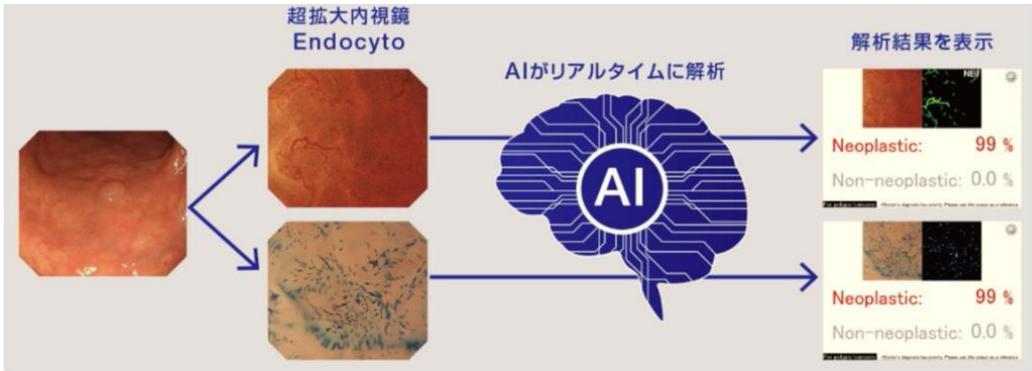
膝・股関節向け 高齢化で需要 生産コスト最大8割減

人工関節手術は増加が続いている。2017年度の人工関節手術件数は、前年比1.5倍増の1万5,000件。ヤマシタは、人工関節手術用の器具を台湾で生産する。生産コストを最大8割削減し、高品質で低価格の人工関節手術が普及する。需要を確保する。

日本経済新聞 2019年2月6日 朝刊掲載

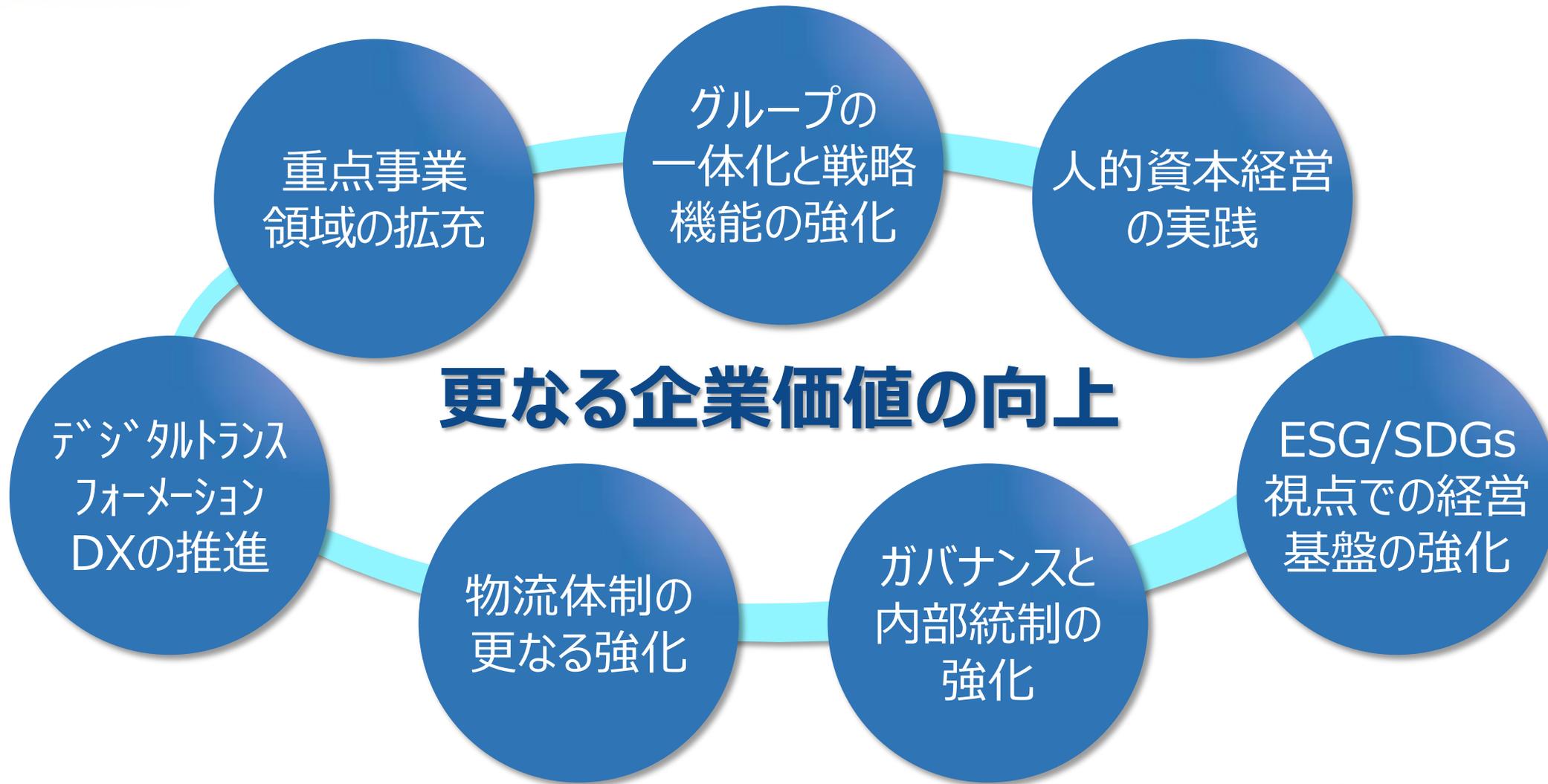
Medisik Wi-Fi

Medisik カメラ



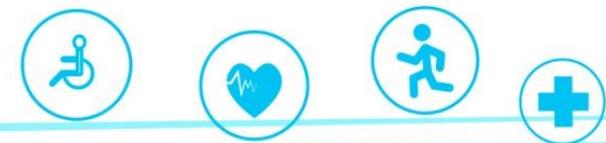
オリンパス(株)内視鏡画像診断支援ソフトウェアより





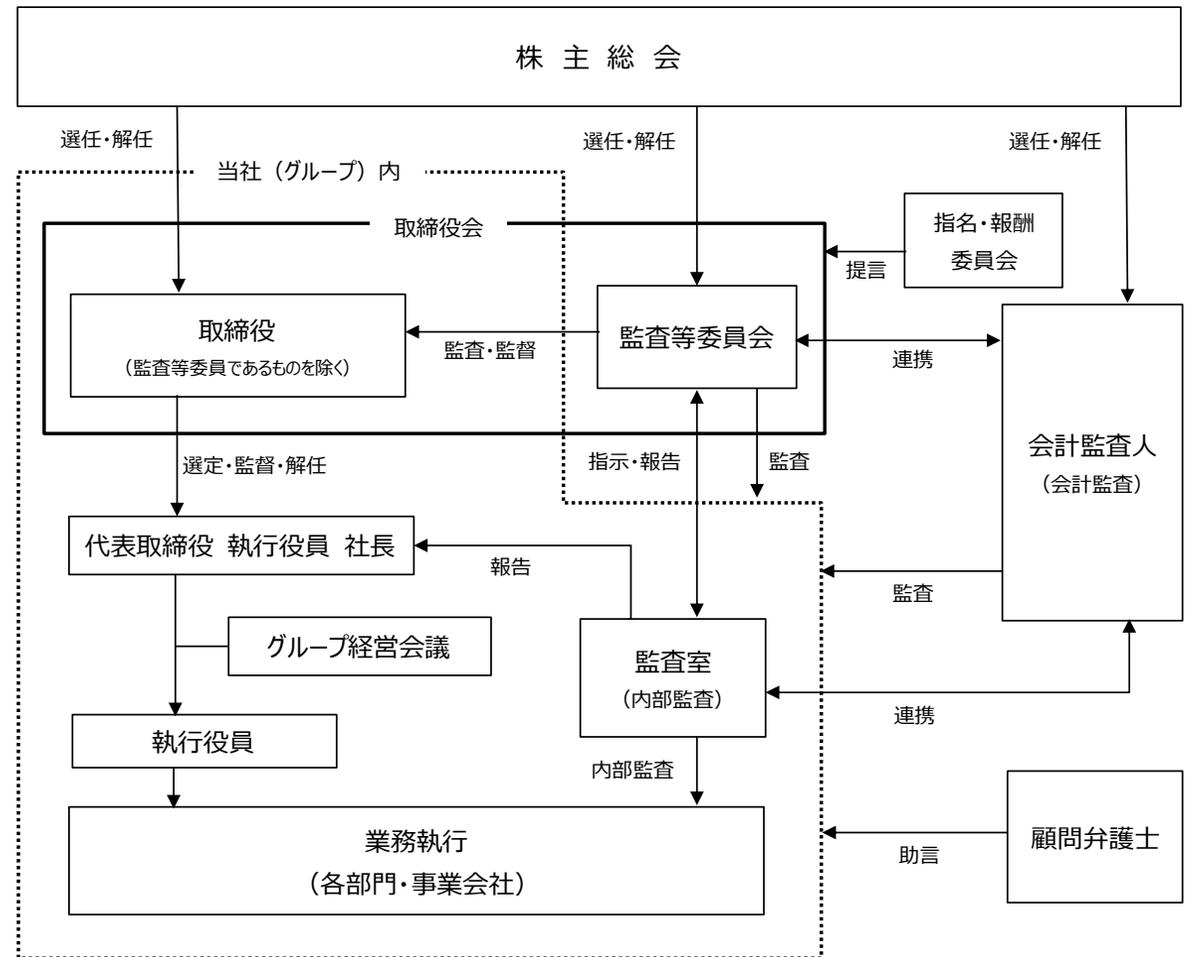


当社グループに関するご案内



コーポレート・ガバナンス体制

当社におけるコーポレート・ガバナンスは、企業価値の最大化に努め、株主利益の実現を図るとともに、企業倫理の向上に取り組めます。また執行役員制度を導入し、機動的な企業運営を行い、企業として健全な経営体制を構築しております。





ESG経営への取り組み

当社は、環境的・社会的・経済的側面に配慮しながら、トータルヘルスケアサービスの事業活動に取り組み、地域とともに持続可能な社会を実現し、企業価値向上を目指すことを重要課題と位置づけ、「ESG基本方針」を策定しております。

【ESG基本方針】

〔Environment：環境に対する方針〕

『私たちは、環境保全もまた人類共通の重要課題と認識します。当社グループの事業活動において、省エネルギーに資する設備の導入やエネルギー効率を高める運用改善などを推進し、CO2排出抑制と省エネルギーに貢献し、自然環境への配慮と負荷の低減に努めます。』

〔Social：社会に対する方針〕

『私たちは、地域、社会の期待に応える幅広いヘルスケアサービスの提供によって、地域の発展を支えています。また、価値創造に貢献できる高い専門性を持つ人材育成、多様性のある人材活用を通じ、全てのステークホルダーと協働することで、社会が抱える課題解決に取り組みます。』

〔Governance：ガバナンスに対する方針〕

『私たちは、関連法規をはじめ、コンプライアンス遵守に努め、社会の規範となる高度な倫理性に根ざした事業活動に努めます。また、経営の透明性を高めることにより、企業価値を更に向上させていきます。』

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



当社グループに関するご案内



『社会貢献債』へのESG投資

当社は、独立行政法人国際協力機構（以下JICA）が発行するソーシャルボンド（社会貢献債）※へ2021年6月に投資いたしました。このJICAが調達した資金は、JICAが実施機関となっている政府開発援助（ODA）の有償資金協力事業を通じて、開発途上地域の経済・社会の開発、日本および国際経済社会の健全な発展のために使用されるものです。

当社及び当社グループは、今後も本債券をはじめとする社会貢献債等へのESG投資や、その他事業活動を通じて、環境や社会問題への取り組みを支援し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※ソーシャルボンドとは、調達された資金が、基礎インフラ開発や社会サービスへのアクセス改善等、社会課題への対応を目的とした分野への、投融資に利用されることを前提として発行される債券です。



学校建設/PHOTO:JICA/Shinichi Kuno



井戸開発/PHOTO:JICA/Shinichi Kuno



株主優待制度

〔対象となる株主様〕

毎年5月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1单元（100株）以上を保有する株主の皆様を対象に、年1回（株主総会後8月下旬）、株主優待を実施しております。

〔優待の内容〕

保有株式数および継続保有期間に応じて優待品を贈呈いたします。（当社オリジナルクオカード）

保有株式 /保有期間	1年未満	1年以上3年未満 ※1,3	3年以上 ※2,3
100～999株	500円相当	1,000円相当	1,500円相当
1,000～1,999株	1,000円相当	2,000円相当	3,000円相当
2,000株以上	1,500円相当	3,000円相当	4,500円相当



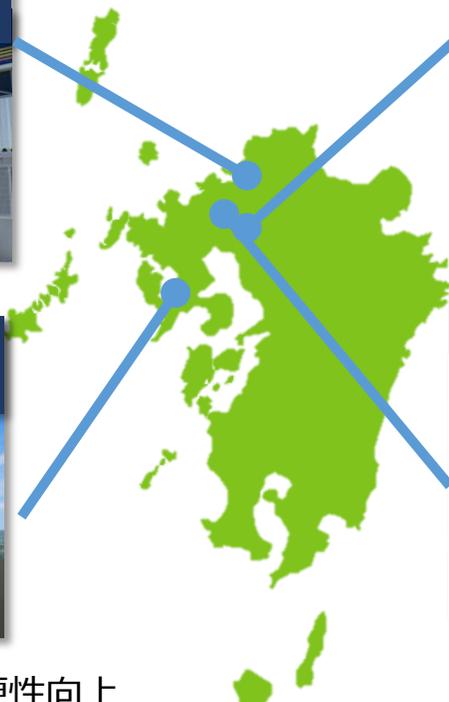


当社グループに関するご案内



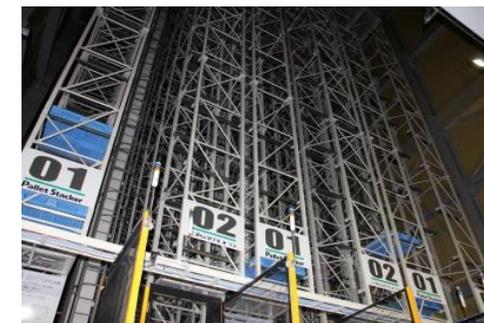
安定供給に向けた物流網

※SPD
Supply Processing & Distribution の略



- ✓ 納期短縮かつ顧客の利便性向上
- ✓ 医療機関をサポートする多品種少量管理
- ✓ 非常時における安定供給確保
- ✓ MAL事業部による事業推進と効率化

※MAL
Medical Active Logistics の略





本資料は、当社の事業内容等につきご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき、当社が作成したものです。
今後の業績等については、様々な要因によって計画数値と異なる結果となる可能性があります。
投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

お問い合わせ先

ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 経営企画室 総務課

T E L : 092-402-2922

F A X : 092-402-2962

E - M A I L : legal@yamashitaika.co.jp

U R L : <https://www.yhchd.co.jp/>

